

第5学年 外国語科学習指導案

1 単元名 「Lesson 7 I want to go to Kenya.」（三省堂「CROWN Jr.⑤」）

2 単元の目標

- ・行きたい場所と、そこでしたいことを尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・友だちが行きたい場所と、そこでしたいことの概要を捉えることができる。

3 言語材料

I want to go to Spain./I want to eat pizza./I want to see Himeji Castle./Where do you want to go?/What do you want to do?/How about you?/
 (Australia/Brazil/Canada/China/Egypt/France/Germany/India/Italy/Japan/Kenya/Russia/South Korea/Spain/Thailand/the USA など) 施設・場所 (beach/castle/sea など)、動作など (chat)、飲食物 (chocolate, mango, sausage など)

4 単元の評価規準

観 点 領 域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ア 友だちが行きたい場所と、そこで何がしたいかということを聞き取ることができる。	ア 友だちが行きたい場所と、そこで何がしたいかについて、意味や概要を捉えることができる。	ア 友だちが行きたい場所と、そこで何がしたいかということを聞き取り、理解しようとしている。
話すこと（やり取り）	イ 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを用いて友だちに自分の考えを伝えるための表現方法を理解している。 ウ 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを探ねたり答えたりする表現方法を理解している。	イ 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを用いて友だちに自分の考えを伝えることができる。 ウ 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを探ねたり答えたりすることができる。	イ 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを用いて友だちに自分の考えを伝えようとしている。 ウ 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを探ねたり答えたりしようとしている。
読むこと	(エ) 音声を読み、イラストを頼りに、外国語を読むことができる。	(エ) 与えられた語彙を並べ替えて文を作り、読むことができる。	(エ) 与えられた語彙を並べ替えて文を作り、読もうとする。
書くこと	(オ) 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを見本を見ながら、書き写したり、なぞったりすることができる。	(オ) 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	(オ) 行きたい場所と、そこで何がしたいかということを見本を見ながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。

※本単元では、（ ）がついている項目については記録に残す評価は行わない。

5 児童の実態

本学年の児童は、4月より教科としての外国語科の学習に取り組んでいる。学習の様子を見ると、外国語を得意だと感じている児童と苦手と感じている児童がおり、個人差が見られる。アンケートや振り返りから苦手な児童は「何を言えばよいか分からない」、「難しいから覚えられない」と不安感をもっている。また、ペアでの活動の際にいつも決まったペアで活動することが多く、あまり関わりのない児童とやり取りをすることに不安を感じているようである。そこで、本単元ではグループ同士でやり取りする場面を設定した。同じグループの児童から補助を得ながら自分からやり取りできるようにする。また、グループ同士で他のグループとやり取りを行うことで、普段あまり関わらない児童ともやり取りすることができるようにする。

また、単元で扱う表現を音声だけでなく文字として提示する。児童が視覚的に認識できるようにすることで、発信できるようにしたい。肯定文や疑問文にも同じ語句が並んでいることに気付き、一つずつ話せることにより、同じ語句に気付きまとめて理解できるようにする。

6 研究主題に迫るための手だて

(1) 「主体的に学習に取り組もうとする態度の涵養」に向けて

①ベラベラポイントの活用

やり取りの場面で、会話をスムーズに進めていくために、ベラベラポイントを提示する。中学年では、反応例が主であるが、第5学年では反応に加え、返答例を分類して、整理した。児童が自らの外国語の知識や技能に合わせて、選択していくことで、会話をつなげ、深めようとする態度の育成ができるようにする。

②ゲーム的活動

本単元では、「ワイワイ Time」にゲーム的な活動を取り入れた。授業の導入時に楽しみながら外国語に触れていく活動を取り入れることで、活発に外国語を話す雰囲気を作れるようにする。また、単元の学習が進んでいくにつれて、学習した語句や文型を段階的に取り入れ、「知り Time」や「やり Time」につながる内容を自然に活用できるようにする。

(2) 「安心してできるやり取りの工夫」に向けて

①学習形態の工夫

本単元では、グループ同士（3人と3人程度）のやり取りを行う。本単元には、児童が発信できるようにしたい表現（発信表現）と児童が受容できればよい表現（受容表現）がある。1人と1人のやり取りでは、受容表現も全員が話すことができないと、コミュニケーションが成立しない場面が多く、児童の不安も強くなる。

そこで、グループ同士でやり取りすることで、受容表現をグループ内の1人が発信し、やり取りを充実できるようにする。ただし、発信表現については、児童一人ひとりが確実に身に付けることができるように場面の設定をする。

②視覚的な文章構成の提示

第5学年になり、外国語を書く活動を行い、文字として外国語を認識する機会は増えているが、まだまだ音声のみで外国語を捉えている児童も多い。そこで、本単元では、表現のまとまりを色分けして提示することにより、視覚的に文章構成を理解できるようにする。

(例) I **want to** go to Spain. I **want to** eat pizza.

Where do you **want to** go? / What do you **want to** do?

want to の部分を色付けする。

③ICT 機器の活用

デジタル教科書を活用し、Chants や Panorama などの音声を聞いたり、リピートしたりすることで、ネイティブスピーカーによる外国語に慣れ親しませた。また、学習用端末を使って、児童自身が外国語を話す姿を録画し、確認、調整、再挑戦することで、実際にやり取りする際の安心・自信へとつなげる。

7 単元計画

時		1	2	3	4	5	6（本時）
Study goal		行きたい場所と、そこでしたいことを尋ねたり、答えたりしよう。					
Today's goal		行きたい場所を伝える言い方を知ろう。	行きたい場所を伝える言い方を知ろう。	したいことを伝えよう。	したいことを尋ねたり答えたりしよう。	行きたい国とそこでしたいことを考えよう。	行きたい国とそこでしたいことを尋ねたり、答えたりしよう。
学習活動		Greetings					
	ワイワイ Time	Games ・国当てゲーム 国旗と食べ物	Games ・国当てゲーム 国旗と食べ物	Games ・国当てゲーム Where do you want to go? を使う。	Games ・国当てゲーム Where do you want to go? を使う。	Games ・国当てゲーム Where do you want to go? Where do you want to do? を使う。	Games ・国当てゲーム Where do you want to go? Where do you want to do? を使う。
	知り Time	Listen&Talk ・Spotlight で行きたい場所を伝える言い方を知る。 ・デモンストレーションを見ていきたい場所の伝え方を知る。	Listen&Talk ・Spotlight で行きたい場所を伝える言い方をおさらいする。 ・行きたい場所の尋ね方を知る。 ・デモンストレーションで行きたい場所を尋ねたり、答えたりする言い方を知る。	Listen&Talk ・Spotlight でしたいことを伝える言い方を知る。 ・デモンストレーションを見てしたいことの伝え方を知る。	Listen&Talk ・Spotlight でしたいことを伝える言い方を復習する。 ・したいことを尋ねる言い方を知る。 ・デモンストレーションでしたいことを尋ねたり、答えたりする言い方を知る。	Listen&Talk ・Spotlight で行きたい場所とそこでしたいことを伝える言い方を知る。 ・デモンストレーションで行きたい場所とそこでしたいことを伝える言い方を知る。	Listen&Talk ・行きたい場所とそこでしたいことを尋ねる言い方を知る。 ・デモンストレーションで行きたい場所とそこでしたいことを伝える言い方を知る。
	やり Time	Activity ・行きたい場所をどこにするか考える。 ・行きたい国や場所を I want to go to ○○で表現する。	Activity ・行きたい国や場所を Where do you want to go?を使って尋ねたり、I want to go to ○○.で答えたりする。	Activity ・自分がしたいことをいくつか考える。 ・自分がしたいことを I want to ○○で表現する。	Activity ・したいことを What do you want to ○○?を使って尋ねたり、I want to ○○.で答えたりする。	Activity ・ I want to go to ○○.や I want to ○○.を使っている場所とそこでしたいことのクイズを出す。	Activity ・グループ同士で行きたい国とそこでしたいことを尋ねたり、答えたりする。
		振り返り					
		Goodbye Greetings					
評価 (評価方法)	知識技能	ア〈行動観察・ワークシート記述分析〉	ア〈行動観察・ワークシート記述分析〉 イ〈行動観察・ワークシート記述分析〉	㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉	ウ〈行動観察・ワークシート記述分析〉 ㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉	ウ〈行動観察・ワークシート記述分析〉 ㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉	ウ〈行動観察・ワークシート記述分析〉
	思考判断表現		イ〈行動観察・ワークシート記述分析〉	ア〈行動観察・ワークシート記述分析〉 ㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉		㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉	ウ〈行動観察・ワークシート記述分析〉
	態度	イ〈行動観察〉		ア〈行動観察・ワークシート記述分析〉 ㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉		ウ〈行動観察・ワークシート記述分析〉 ㊸〈行動観察・ワークシート記述分析〉	

8 本時（全6時間中の第6時）

（1）本時の目標

行きたい国やそこでしたいことを尋ねたり、答えたりする。

（2）本時の展開

時	学習内容・学習活動	○指導者(HRT)の留意点 ◎外国語指導補助手(ALT)の留意点	評価			
			知技	思判表	態度	評価方法
Greeting	1 Greetings ・日直が進行し、外国語であいさつを行う。	○カードの中から天気、日付、曜日など簡単な質問を選ぶことができるようにする。 ◎日直や他の児童と一緒に正しい発音で外国語を話す。				
ワイワイTime	2 Games(国当てゲーム)。 ・国旗カードに合った食べ物カードか観光地カードをI want to go to ○○. や I want to eat○○. と言いながらめくるゲームを行う。	○デモンストレーションでルールを確認できるようにする。 ◎デモンストレーションで言い方を正しい発音で言う。				
知りTime	3 Today's goalの確認をする。					
	Today's goal 行きたい国とそこでしたいことを尋ねたり、答えたりしよう。					
知りTime	4 Listen&Talk ・Word chantで国の言い方を確認する。 ・Spotlightで行きたい国やそこでしたいことを伝える話し方を確認する。	◎正しい発音で言い方を言う。 ○デジタル教科書を活用して、「やりTime」で使う表現を確認できるようにする。【ICT機器の活用】 ◎正しい発音で表現したり、指導者(HRT)とデモンストレーションを行ったりする。				
	5 Activity ・グループ同士で行きたい国とそこでしたいことを尋ねたり、答えたりする。 ・Where do you want to go? や What do you want to eat? などを使って相手のおすすめの国とそこでしたいことを尋ねる。 ・話し手側と聞き手側に役割を分けて活動し、前半が終了したら役割を交代する。 ・前半が終了した時に、数名が代表してやり取りする。	○充実したやり取りができるようにヒントシートを用いてベラベラポイントを意識したり、伝えたいことを表現できるようにする。 ○グループで活動することで、安心して取り組めるようにする。 ○前半が終了した時に一人の児童の行きたい国やそこでしたいことをやり取りした相手に聞き、やり取りできたことを確認する。 指導者(HRT) “Where does C1 want to go?” C2 “Italy.” 指導者(HRT) “Where do you want to go?” C1 “I want to go to Italy.” ◎ベラベラポイントを意識しながらやり取りできている児童を褒める。		ウ	ウ	行動観察 ワークシート 記述分析

		◎机間指導し、正しい言い方ができている児童を褒める。				
振り返り	6 振り返り ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 7 Greetings 終わりのあいさつをする。	○本時のめあてが達成できたかや、ベラベラポイントを使ってやり取りできたかを、振り返られるようにする。 ○日直が前に出て、あいさつができるようカードを使って補助する。				